

[02] 地域健康文化学論輯表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/20628>

出版情報：地域健康文化学論輯. 2, 2010-03. 地域健康文化学会
バージョン：
権利関係：

編集・運営メモ

1. 地域健康文化学会・地域健康文化化学研究所が発足し一年近くが過ぎました。短い期間ながら、反響も大きく、多くのご協力とご参加を賜りました。心から感謝申し上げます。
2. 国会図書館のご好意により迅速に ISSN を得ることが出来ました。感謝申し上げるとともに、今後、不手際の無いように、発刊ごとに送付しなければなりません。
3. 本号は、「生命特集」として、論文、絵画、写真など複合的な編集を行いました。特定の主張に抛りがちなテーマですが、あくまで研究という立場から、何かを一方的に主張するのではなく、試行錯誤して考えていくことに柱を据えて、さまざまな試みと考える切り口を提供することに価値を見出す試みを行いました。それゆえ、絵画・写真などもむしろ効果的だと考えました。
4. 本号では、CD-ROMというメディアの性質を生かして写真・絵画などを多く掲載しました。「論輯」という名称からは離れたイメージもありますが、本論集の、研究所機関誌を兼ねるという性格をご理解いただきたいと思います。今後ともCD-ROMという性格を活用して、さまざまな試みを行っていきたいと思います。アイデアをお寄せいただければ幸いです。
5. 年度末、年度途中に関わらず、常勤・非常勤を通して会員の異動があります。現実を踏まえて勤務先や肩書きの表記は以下のように行います。
 - ①□ 口頭発表に関しては、発表時の立場を記す。
 - ②□ 掲載論文については、異動前の立場を記すとともに、編集時に確定しているものは異動後の立場を注記します。
6. 専攻、授業科目などなるべく詳しく記します。特に、学生や専任の教職以外の方は自己紹介の意味を含めて詳細にご協力をお願いしました。感謝申し上げます。
7. 講演の場合には、内容の書式と資料を整え論文にふさわしい形にするなどし、また、書評、調査資料、文献資料、企画資料など、資料として保存しておきたいものや、絵画、写真、音声、文芸作品などの掲載も行います。
8. 掲載論文については今号も事務局の責任で査読しましたが、論旨を確認しつつ何度も読み、それに基づいて手を入れていただきました。関係各位に感謝いたします。
9. 口頭発表は原則として、事務局に依頼された時点で、日程調整、会場予約などを行います。一人につき2時間くらいの時間帯を準備し十分に議論することを目的としますが、申し込みが多数の場合は、シンポジウム形式のように、それぞれの発表が相互に関連できるものを優先的にとりあげます。早めの申し込みをお願いします。
10. 年会費（年度区切りは年末年始）については、規約に基づき全員から徴収します。そのつどの聞き手についてはこれまでどおり当日参加費のみ。論文掲載に関する負担金については、投稿規程を参照のこと。
11. 共同研究についても、当論輯に特集するとともに、単行本刊行を目指したく存じます。興味深いテーマを募集します。
12. この論輯および学会、研究所の情報は、<http://chiikikb.kan-be.com/> をご参照下さい

- い。また、お申し込み、ご意見などは、chiiki-kb@mail.goo.ne.jp にお寄せ下さい。
13. この論輯の購入に関しては、支部事務局にEメールで問い合わせてください。
 14. 執筆者自身で印刷し抜き刷りを作成することができます。表紙を印刷してつけるか、抜き刷り用の書式をご使用ください。また、全体の印刷・製本も会員に限り可能です。添付の背表紙をご利用ください。
 15. 学会運営のスタッフや会費等は毎年初頭（原則的に1月）に決定し承認しますが、緊急の議題に関してはそのかぎりではありません。
 16. 2009年8月15日現在の学会幹事会構成：
荒木正見（会長）、壬生正博（副会長）、徳永光展（幹事）、
藤原まみ（幹事）、駄田井直子（幹事）、荒木雪葉（幹事）